

見に行く・参加するボランティア活動

NPO 藹々

マラソン大会で地域を活性化したい

<http://www.npoaiai.jp>
0942-30-1201 (筑後川マラソン事務局)

久留米といえば何かあるかを考えたときに筑後川が心に浮かび、筑後川でマラソン大会を開催して地域を活性化したいと3人で活動を始めました。現在は10代~70代までの30人が、この大会を通して健康増進とランナーを支える喜びを感じながら活動しています。

主な活動は、今年12回目を迎える「筑後川マラソン」の企画・運営です。初めはランナーを集めることが大変でしたが、今はエントリー数約6000人の大会にまで成長しました。そのうち36%が県外からの参加者です。また障がい者の専用種目もあり、ノーマライゼーションの考えを軸に運営しています。平成26年は地元企業や医療機関も加わり、ボランティアとして600人が活動しました。



やりがいは、全国からやってくるランナーに久留米のことを知ってもらい、楽しんでもらえることです。今後は、地元の人にもっと「筑後川マラソンの日」を知ってもらいたいです。

小学生から高齢の方まで、ボランティア活動ができる人を募集しています。「筑後川マラソン2015」は、平成27年10月11日(日)に開催。スタート地点は、久留米百年公園河川敷です。

代表 江崎 秀雄 さん



平成15年団体設立(12年目)
最近凝っていることは、オーブオイルを使ったパリパリの焼きそば作り。趣味は、サーキットを走るモータースポーツ。

[座右の銘]
まずは行動

Good News

自分たちにできることをしよう

<http://www.make-goodnews.com>
080-3974-4160 (中島さん)

久留米大学の同期生たちと卒業後「自分たちが見たいと思えるような Good News を自ら発信していく活動をしよう!」と任意団体 Good News を結成しました。

主な活動は筑後川でのゴミ拾いです。みんなが親しめる川にしたいと考え、筑後川を活動場所を選びました。毎月第2土曜日に子どもから大人まで、多いときには100人以上が参加し、2トン車1台分のゴミを集めます。

もう1つは自然体験活動です。「エコよりもニコ!」をモットーに、参加する人がどうやったら楽しく活動できるかを考えています。

やりがいは、仕事では知り合えない人や自分の住むまちの人と出会えることです。地域の方から感謝されることも嬉しいです。

今後は、昔の筑後川の様子を知っている人に話を聞いたり、子どもたちに自然体験活動を通して川の魅力を伝えたりしたいです。

ゴミを一人で100袋分拾うことより、100人で少しずつ拾ったらもっと素敵だと思うので「100人で1歩」を歩んでいきたいです。毎月第2土曜日の9時30分から11時まで、筑後川防災施設くるめウスに集合して活動しています。



代表 中島 重人 さん



平成20年団体設立(7年目)
普段はサラリーマン。5月に双子の女の子が生まれ、3児のパパになりました。一番の楽しみは子どもたちと遊ぶこと。

[座右の銘]
有言実行

久留米市内で活動するボランティア団体やNPO(法人)は440以上あります。その中から今回は、これまでボランティア活動をしたことがない方でもはじめの一歩を踏み出しやすい活動を紹介します。

ちくご松山櫨復活委員会

櫨の景観を取り戻したい

<http://www.mahaze.com>
090-6779-4352 (矢野さん)

江戸時代に櫨(はぜ)の実から採取される櫨蠟(はぜろう)は、和ろうそくや髪付け油などに利用されてきました。現在では櫨は随分減ってしまいましたが、田主丸町で発見された櫨の品種があることを知り、櫨の魅力を多くの人に知ってほしいと活動を始めました。

櫨の良さを知ってもらうためのワークショップや櫨の実を採る「ちぎり体験」、櫨の植栽活動に取り組んでいます。櫨を使った、和ろうそくやキャンドル、石けんなどの商品開発や展示会にも力を入れています。

今は40人ほどの賛助会員と一緒に櫨を守り、その魅力を地域の人に再認識してもらえるように活動しています。

櫨を通して、和ろうそくをつくる職人や企業の方など、さまざまな方との出会いがあることがやりがいです。今後は、櫨の価値を多くの方に理解してもらい、地域の財産として残していくことの大事さに気づいてもらえるよう活動していきたいです。

11月には櫨の実が真っ赤に染まります。櫨の景観を通して、地域の資源を見つめ直すきっかけとして櫨の実ちぎり、和ろうそくやクレヨン作りなどに参加できる方や賛助会員を募集しています。



代表 矢野 眞由美 さん



平成19年団体設立(8年目)
普段の生活も櫨が中心。櫨を使った商品のデザインや櫨の写真を撮ることが好きで、趣味は櫨の話をしながら日本酒を飲むこと。

[座右の銘]
故きを温ねて新しきを知る

ほとめきイベント実行委員会

一緒にまちで楽しもう

<http://kurume-halloween.com>
090-9720-4293 (内野さん)

久留米に10年ぶりくらいに戻ってきて、中心市街地のアーケードなどの人の少なさに驚きました。そこで「行動してみよう」と思い、平成20年に音楽好きの仲間無料でイベントを開催しました。

活動をしていく中で、佐世保市の商店街の理事長から、商店街でクリスマス仮装イベントを5,000人規模で開催していることを聞きました。

平成26年に「ほとめきイベント実行委員会」を立ち上げ、中心部の商店街では秋に開催される大きなイベントが少ないことに注目して、一番街周辺でハロウィンパーティを開催しました。

参加者は予想を超える600人くらいだったので、達成感がありました。参加者から「楽しかった」「また来年も参加したい」と言われたことが嬉しかったです。今後は、まちの賑わいづくりに関わる団体などが、1つのチラシで年間のイベント情報を一緒に発信できるような仕組みを考えて、まちを盛り上げていきたいです。



平成27年10月31日(土)に中心市街地でハロウィンパーティを開催するのでぜひ来てください。仮装行列は一見の価値ありです。また、当日のボランティアも募集しています。

会長 内野 大悟 さん



平成26年団体設立(1年目)
仕事一筋!お客様に喜んでもらえることがうれしい。仕事以外のことも喜んでもらいたい。ぶらりと出かける一人旅が趣味。人とふれあうことが好き。

[座右の銘]
今まで出会ったすべての人に感謝